

**10代のための「くじけない心」をつくる本**  
中野有美／大和出版

著者は精神科医。「こころの筋肉を鍛えよう」と最初に書いてあります。これはどんなことなのか？つらいことがあっても、勇気を出して向き合い、自ら解決していける。そんなしなやかで強い自分になれる「認知行動療法」による心のトレーニングの事が載っています。

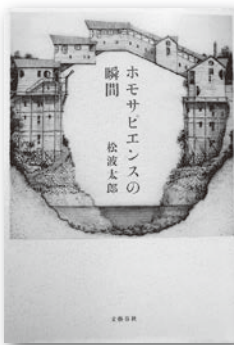


**金山杉俳句会報 第三九三回**

藤寝椅子まだ亡夫の香のありにけり セイ子  
ベランダに風おくりをり鯉のぼり サタエ  
樟脳の香りの残る衣更 敏子  
香焚いて人待つ刻のぼたんかな 恵美子  
忘却を色にたとへば桐の花 よし子  
田水張る小さく波打つ日暮れ時 順子

**ホモサピエンスの瞬間**  
松波太郎／文芸春秋

第154回芥川賞候補作品。  
—選してしまっていていいのですか？人のかたちをした獣に—。介護施設でマッサージを行う鍼灸師。イカイダさんのひどい首凝りをほぐすうち浮かび上がる、日中戦争の記憶とは？整体で身体の記憶と歴史を探る野心作！



**かねやま紅風会**

片栗の花の頷き峡の風 荒屋 阿部 勝子  
悲しみを露地へ小路へと水仙花 荒屋 関 喜美子  
懐かしや田植盆昼餉の朴の葉飯 菅 越 庄司けみ子  
黄芍薬咲けば従姉の顔うかぶ 菅 越 庄司けみ子  
ずっしりと笥抱き仔犬よぶ 菅 越 庄司けみ子  
田水張るケロケロ休む寸暇なし 七日町 青柳キエ子  
きざはしや太息を吐く木下閣 七日町 青柳キエ子  
麦秋の風にさやげり亡父母の声 七日町 青柳キエ子

裾野道近くて遠きほととぎす 七日町 柴田 栖静  
薫風や我を誘ふ旅ごころ 羽 場 坂本徳太郎  
娘の去りてあかずの箱に雛ねむる 羽 場 坂本徳太郎  
軒先へ賑はひ戻る古巣かな 上 台 阿部 一  
イザベラを偲ばす藤や三坂越 上 台 阿部 一  
梅雨の中歴史たしかむ巡り旅 上 台 阿部 一  
見事なり散り敷く花の絨毯路 七日町 村松 恣風  
忌を修す墓地の青葉に噎せながら 七日町 村松 恣風

**新刊図書 7月**

名店のサンドイッチ おいしい作り方／野田比都美他  
若様とロマン／畠中恵  
幸せになる勇気／岸見一郎他  
10代のための「くじけない心」をつくる本／中野有美  
シェア／加藤秀行  
ホモサピエンスの瞬間／松波太郎  
部屋は自分の心を映す鏡でした。／伊藤勇司

**森の子ども図書 127 交流サロンポスト内 12:30~17:00**



**『かあちゃん えほんよんで』**  
(かさいまり／文 北村裕花／絵 絵本塾出版)

となりのまこちゃんは毎日寝る時にお母さんに本を読んでもらっているみたい。でもうちのかあちゃんは美容師でお店は毎日忙しい。絵本を読んでもほしいけど、ちょっと遠慮しちゃう。テーブルの上に絵本を置いても、かあちゃんは笑いながら「絵本はいいよ！しっかり読みな！」と言うだけ。もうかあちゃんに読んでって言うのやめよう。そのうち、ぼくの誕生日がきて…。お母さんって人は、子どものことを本当によく見ているものです。絵本の読み聞かせは人をやさしくし、人とのつながりを強いものに。